



特集

絵本の館新館 20 周年 「絵本の館のあゆみ」

平成 16 年 6 年に現在の絵本の館へ移転
 ～完成までに様々なことがありました～

絵本の館は、町民の皆様のおかげで令和 6 年 6 月に新館 20 周年を迎えました。広報紙絵本のりけんぶち 8 月号では、以前活用していた「旧絵本の館」についてと現在の絵本の館が建設されるまでの経過、施設のことなどを掲載していきます。

「旧絵本の館ができたキツカケ」①

～元々の公民館を活用していた～

旧絵本の館は、昭和 19 年に役場庁舎として建築された木造建物で、昭和 55 年に役場庁舎が新築され、昭和 57 年から「公民館」として多くの町民の方に利用されてきました。

「旧絵本の館ができたキツカケ」②

～絵本の里を創ろう会の結成・絵本のりづくりの原点～

○絵本のりづくりのきっかけ

～始まりは当時の編集長の一声から～

今や「絵本の里」として知られている剣淵町ですが、絵本のりづくりを進めていくきっかけとなったのは、士別市に住んでいる版画家の小池暢子さんから紹介された松居友さん（当時福武書店児童図書編集長）との出逢いから始まりました。

昭和 63 年 3 月 28 日に東京から松居友さんが来町し、町内のあちこちを案内されている時、「この町はヨーロッパの風景と似ている。」「いろいろな作家の作品を集めて、誰もが見たい時に見ることが出来る原画美術館が日本にも欲しい。」と話を受けました。この時の話から絵

本原画美術館構想が生まれ、絵本のりづくりの原点となりました。

○けんぶち絵本の里を創ろう会結成

剣淵町の活性化を模索していた町民の有志が行動を起こしたことがきっかけで、昭和 63 年 6 月 8 日に 13 名の発起人により設立総会が開催され、けんぶち絵本の里を創ろう会が結成されました。

こうして、住民活動による新しいまちづくりが始まりました。

○創ろう会で実施した主な事業

■講演会の実施

松居友さんによる講演会が初めての事業で参加者は 80 人にのぼり、反響は大きいものでした。

■原画展の実施

・小池暢子さんとクリステーナ・ヒエロフスカさんによる「国際交流版画 2 人展」
 ・手嶋圭三郎絵本美術展・シンポジウム
 ・北海道絵本のり冬冬の絵本原画展・シンポジウム



▲旧絵本の館での原画展の様子

■絵本の全戸回覧

■町内巡回文庫（25 か所）

■読み聞かせ会の実施

「旧絵本の館」と原画収蔵館の施設概要



施設名：絵本原画収蔵館
建築年：平成2年
面積：約186㎡
著名な絵本作家の作品原画など約400点が収蔵されています。



施設名：(旧)絵本の館
建築年：昭和19年
面積：約926㎡
1階：絵本図書室、展示室、喫茶室
2階：展示室、和室、会議室など

移転新築の議論をするキツカケ
↳建物耐震診断結果から移転新築決定まで
○町で耐力度調査を実施
建物の老朽化により危険であることが判明

平成3年8月に第1回絵本の里大賞来館者投票と同時にオープンした絵本の館は、昭和19年に建築された役場庁舎を改修整備した建物で、築後56年を経過し、経年による老朽化が目立つようになりました。町で実施した耐震診断の結果、老朽化が著しく進み、構造的に耐震性が低く、非常に危険であることが判明しました。

判明後には、整備検討委員会や整備計画委員会が教育委員会や剣淵町議会で長い時間をかけて意見を交し、議論を行い、平成14年10月に移転新築が決定しました。

今の絵本の館の施設概要



建築年：平成16年
面積：1,798.11㎡(延床面積)
総工事費：約6億2,200万円
旧絵本の館と比べた延面積では約2倍の広さになっています。

建物には、木材をふんだんに使い、利用する方に優しい雰囲気を作り出しています。
また、子どもや高齢者、車いすを使用する方にも利用しやすいように館内は全てバリアフリーとなっています。

こうした子どもから大人までが思い思いに楽しむことができる絵本の館は、平成22年に一般社団法人公共建築協会「公共建築賞・優秀賞」を受賞しました。

絵本の館は今や全国各地から訪れる

剣淵町を代表する施設へ

剣淵町のまちづくり「絵本の里づくり」を支えてきた「絵本の館」。全国各地の絵本ファンが剣淵町の絵本の館を訪れ、剣淵町を知るきっかけになってきました。

当初は、約1万冊だった蔵書数が約7万6千冊にまで増加し、新館移転後の来館者数は60万人を越えました。

剣淵町と絵本の里を創ろう会が連携して行ってきた原画展や絵本の里大賞など地道に続けてきた活動が「絵本の里づくり」として形となり、地域に根付き、今日に至っています。

今後も、この町に根付いた絵本文化が未来へと継承されるよう進めていきます。

あとがき

今回、絵本の館が移転新築となるまでの歴史とけんぶち絵本の里を創ろう会の取組などをご紹介させていただきました。広報9月号では、新館に移転してからの剣淵町と絵本の里を創ろう会の活動に焦点を当てて紹介していきます。